

クラガリシダ *Lepisorus miyoshianus* (Makino) Fraser-Jenk.

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 3、生育環境階級 3、人為圧階級 4、固有性階級 2、総点 15。全国的に見ても希少な、自然度の高い森林に依存する植物で、伐採などの影響を受けやすく、園芸目的の採取圧も高い。愛知県においても減少傾向が著しい。

【形態】

常緑性のシダ植物。根茎は短くはう。葉は狭線形で長さ 30~50cm、幅 2.5~4mm。先端に向かって次第に細くなり、下方も次第に細くなり、ごく短い柄がある。葉質は厚く、中肋は表面がくぼんで 1 条の溝となり、下面は広く隆起する。胞子のう群は連なって線形となる。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：1 富山 (芹沢 46826, 1987-8-30)、2 豊根 (村松正雄 15157, 1994-5-8)、3 東栄 (芹沢 79352, 2004-8-22)。西：5 稲武 (芹沢 81985, 2007-8-5)、19 旭 (芹沢 84928, 2009-9-19)。設楽 (八橋, 加藤等次 s.n., 1968-10-6) で採集された標本もある。

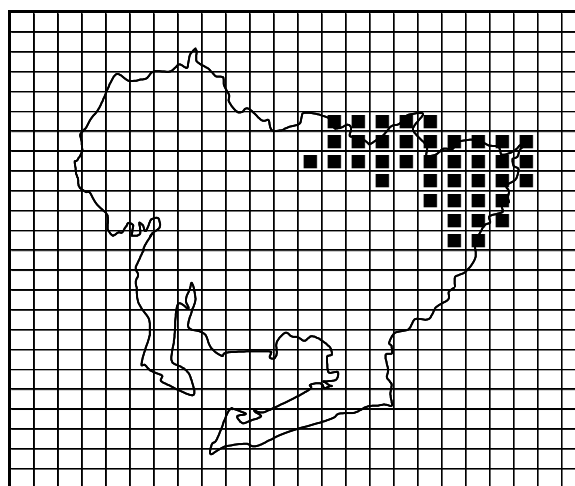
【国内の分布】

本州 (石川県、静岡県以西)、四国 (愛媛県)、九州 (大分県) に分布するが、稀である。

【世界の分布】

日本、台湾、中国大陸中~南西部。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

深山の沢沿いの、老木の樹幹に着生する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

かつては比較的個体数の多い場所もあったというが、森林の伐採と園芸目的の採取によって、現在ではあまり見られない植物になってしまった。しかし、それでもなお全国的に見れば、愛知県は本種の主要な生育地の一つである。

【保全上の留意点】

沢沿いの森林の保全が必要である。園芸目的の採取を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。

【特記事項】

和名は、最初の発見地である岐阜県小坂町暗がりの坂に因む。

【関連文献】

保シダ p.158, 平シダ p.268, 学シダ II p.464, 環境省 p.269, SOS 旧版 p.42.
倉田 悟・中池敏之(編). 1981. 日本のシダ植物図鑑 2: 342-345. 東京大学出版会, 東京.